

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3870105487			
法人名	医療法人福井整形外科・麻酔科			
事業所名	グループホーム杜の里			
所在地	松山市鷹子町185番地1		(電話) 089-955-6667	
管理者	田邊 朋子			
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS			
所在地	松山市千舟町六丁目1－3チフネビル501			
訪問調査日	平成20年10月28日	評価確定日	平成20年11月10日	
【情報提供票より】 (平成20年10月11日事業所記入)				
(1) 組織概要				
開設年月日	平成17年12月20日			
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18	人
職員数	20 人	常勤	12人, 非常勤	8人, 常勤換算 16.5人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)				
家賃 (平均月額)	40,000	円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有 (円)		(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200 円			
(3) 利用者の概要 (平成20年10月11日現在)				
利用者人数	18	名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	2	名	要介護2	5 名
要介護3	3	名	要介護4	5 名
要介護5	2	名	要支援2	1 名
年齢	平均	83.4 歳	最低	64 歳
			最高	97 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算				
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護			
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護			
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護			
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算			

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】	
●利用者がご家族の冠婚葬祭に出席される場合には、職員も付き添われたり、送迎をされている。 ●事業所では、ご本人やご家族の希望に沿って、事業所で最期を送ることを支援されている。 ●管理者は、「その時々の利用者の状態に応じて、言葉かけや対応も臨機応変に行う」よう職員に指導されている。調査訪問時、職員は、利用者個々の性格等も踏まえてかかわっておられた。 ●食事内容は、それぞれのユニットでメニューも違い、品数を豊富にされ、楽しまれたり、又、皆で食事作りに参加して食べることを楽しみにされるユニットもある。利用者の中には、「食事作りは職員に任せる」と言われる方もあるが、下ごしらえや食器洗い、食器拭きを役割として行っておられる方の様子もうかがえた。	
【質向上への取組状況】	
▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目:外部4)	
・今年5月に管理者の交代があった。管理者が代わったことでの利用者やご家族、職員のダメージを軽減できるよう力を入れて取り組まれた。又、今後、個別支援に力を入れて取り組みたいと考えておられた。	
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目:外部4)	
・管理者は、自己評価項目をアンケート形式にして、職員に分かりやすくされて取り組み、それらを管理者がまとめられた。	
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目:外部4, 5, 6)	
・民生委員の方やご家族等の参加を得て、会議を行っておられる。地域の情報を得られたり、自己評価項目の中から「地域とのつながり」について意見交換を行い、地域の方の事業所に対するイメージ等についてご意見をいただいた。	
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目:外部7, 8)	
・ご家族の来訪は頻繁にあり、その都度、現況報告をされている。又、遠くにお住まいのご家族とは、メールのやり取りをされている。毎月、利用者個別のたよりを担当者が作成し、日々の様子や体調を報告され、事業所便りでは行事の様子を写真入りで知らせておられる。	
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目:外部3)	
・現在、地域の方が週に1回程度、事業所の畑作業を手伝ってくださっている。地域のボランティアの方が、お茶を点てに来てくださることもある。又、春には事業所主催のバザーを開催し、地域の方が参加されている。	

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 杜の里

(ユニット名) こもれび

記入者(管理者)

氏 名 田邊 朋子

評価完了日 平成 10 年 10月 15 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は は取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			自分達で考えた理念であるため、独自の理念ではあるが、地域密着型サービスとしてという点では、内容に地域性がないと感じます。	※	地域密着型サービスとしての地域とのつながりを考えた理念を検討したいです。
			(外部評価)		
			事業所では、職員で話し合い「あわてず、あせらず、あきらめず」という理念を作成し、利用者とのかかわりの中で実践に努めておられる。	※	さらに、事業所では、今後より一層地域との関係を深めていきたいと考えておられる。貴事業所が地域密着型サービス事業所として、地域の中のどのようなことを目指していくのかということを、この機会に話し合ってみてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			自分達の言葉で作っているの、理念についてどういものかは管理者、職員ともによく理解しており、日々実践に向けて取り組んでいます。基本理念：あわてず、あせらず、あきらめず。目の届く 手の届く 心の届く 生活を支えます。		
			(外部評価)		
			共用空間や職員の集まる場所に理念を掲示し、共有に努めておられる。又、管理者は、職員に理念に基づいたケアについてアドバイスをされている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議や地域の方と接する機会に公表している。ホーム内の目に付きやすいところに掲示しています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価)		
			近隣所の方々とは、道端で出会ったりなどした折は、気軽に挨拶などを行えるようになってきた。顔見知りのお付き合いの関係は出来ている。畑を手伝ってもらったり、バザーへ参加して頂いたり、日常のかどうかは分からないが、何かあれば気軽に来てもらえています。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価)		
			出来る限り地域行事への参加をしています。盆踊り、町内清掃、運動会など。	※	これからもより一層いい関係作り、交流が持てるよう努めていきたいです。
			(外部評価)		
			現在、地域の方が週に1回程度、事業所の畑作業を手伝ってくださっている。地域のボランティアの方が、お茶を点てに来てくださることもある。又、春には事業所主催のバザーを開催し、地域の方が参加されている。	※	今後、地域の方に向けて、事業所内で「車椅子の押し方」等についての講習を行いたいと考えておられる。又、地域の方とともに避難訓練を行うことも計画されていた。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価)		
			地域貢献には至っていないが、運営推進会議などでの議題として話し合っています。	※	実際に協力して、出来る事があれば実現していきたいです。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営者、管理者は自己評価の意義を理解し、全体で取り組めるように、職員にアンケートを実施し、いろいろな意見が反映されるようにしている。職員は、評価に意義を充分理解しているが、中には難しいと感じる内容もあったようです。	※	今回の自己評価で思い思いのを感じたようなので、具体的に改善点を打ち出し、どう取り組んでいくかをこれからまた検討したいです。
			(外部評価)		
			管理者は、自己評価項目をアンケート形式にして、職員に分かりやすくされて取り組み、それらを管理者がまとめられた。今年5月に管理者の交代があった。管理者が代わったことでの利用者やご家族、職員のダメージを軽減できるよう力を入れて取り組まれた。又、今後、個別支援に力を入れて取り組みたいと考えておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議の内容に、利用者の方々の生の声を聞いて いただこうと、バーベキューを実施してみました。 結果、利用者の方も大変喜び、参加して頂いた地域の方 々からも、日常が垣間見れるという事でたまにはいいな と言うお言葉をいただきました。	※	話し合いだけではなく、運営推進会議を有効的に活用 できるようにし、サービス向上に努めていきたいです。
			(外部評価)		
			民生委員の方やご家族等の参加を得て、会議を行って おられる。地域の情報を得られたり、自己評価項目の中 から「地域とのつながり」について意見交換を行い、地 域の方の事業所に対するイメージ等についてご意見を いただいた。	※	会議の参加者を増やされたり、内容やすすめ方等につ いて今後も工夫を重ね、事業所のサービスの向上につ ながられるよう、取り組んでいかれることが期待され る。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			市町村の方もお忙しいようで、運営推進会議への参加 もままならない現状のようで、その分、市社協の方と お話しする機会が増えました。何かあれば相談するこ とはあっても、サービスの向上に活用するには、行政 側が忙しすぎるように感じます。		
			(外部評価)		
			市社協の担当者の方から、他事業所の取り組みの事例 を教えていただいたり、車椅子の押し方の講習の開催 についても提案いただいた。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			管理者は、制度を理解し、個々の必要性に応じて、活 用できるように相談、援助を行っている。職員は、な んとなくの全体像は理解しています。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			ミーティングを利用して、勉強会を行ったり、些細な 事でも相談し合えるように、全体で理解を深め、日々 のケアにあたっています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時、出来るだけわかりやすい言葉で説明を行い、内容を理解していただいてから、同意をいただいています。説明時だけでは、理解しきれない事もあると思うので、その都度なんでも相談しあえるように協力をお願いしています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の表出しにくい思いなどを汲み取れるように、職員は思いを聞き、管理者は声をかけ、運営推進会議を活用して、外部の方と接する機会を持っています。表出した思いには応えていけるように努めています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月、日々の暮らしの報告を兼ねて「生活の様子」と「杜の里だより」を送付しています。体調の変化があったときや相談したいことなどがあった場合その都度連絡を取り合えるようにしています。		
			(外部評価) ご家族の来訪は頻繁にあり、その都度、現況報告をされている。又、遠くにお住まいのご家族とは、メールのやり取りをされている。毎月、利用者個別のたよりを担当者が作成し、日々の様子や体調を報告され、事業所便りでは行事の様子を写真入りで知らせておられる。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族の来荘時には、気軽に話していただけるような関係が作れるように職員全体で心がけています。お聞きしたご希望、ご意見に添えるように取り組んでいます。	※	不満、苦情はなかなか言い出しにくい事だと言う理解のもと、その意見が表出できるようにこれからも取り組んでいきたい。
			(外部評価) ご家族の来訪時等に、ご意見等を聞き取るようにされている。現在は、ご家族からの意見をいただくことはあまりない。	※	さらに、事業所では今後、クリスマスや忘年会等、ご家族が来られる際に、ご家族同士が交流するような機会を作っていきたいと考えておられた。さらなる事業所の質の向上のためにも、ご家族から具体的なご意見を出していただけるような雰囲気や、機会作りの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			ミーティングで意見を出し合ったり、気軽に意見が出せるように個別に声をかけたりして、働きやすい環境づくりに努めています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			職員が協力し合い、柔軟な勤務調整を行い、行事や必要に応じて職員の配置が充分に取れるようにしています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			異動や離職は最小限に出来るよう、働きやすい環境づくりに取り組んでいます。交代がある場合は、利用者の方に影響が出ないように、職員全体でフォローする体制が取れるように努めています。		
			(外部評価)		
			管理者の交代があり、まず、管理者は、職員が意見を出せるような雰囲気作りに力を入れて取り組まれた。現在、離職者もなく、「職員同士のチームワークもよく、何でも相談し合える」と職員は話しておられた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			職員個々に必要だと考えられる研修を考え、出来るだけ参加できるようにしています。全体のスキルを向上できるように、ミーティングなどを活用して、勉強会を行っています。		
			(外部評価)		
			毎月、事業所では勉強会を行っておられる。母体病院の医院長が感染症やいざという時の対応等について話して下さることもある。		さらに、管理者は、今後、職員とともに、改めて「介護」とは何かという基本的なことに立ち戻り、勉強を重ねていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			GH協会主催の「相互評価事業」に参加し、職員が他ホームを見る機会を設けている。近隣ホームとは、地域行事への参加等の際に交流が持てるようにしています。	※	近隣にグループホームが多くある為、もっと日常的に交流していきたいとおもいます。
			(外部評価)		
		行事等で地域の他事業所と交流を図っておられる。又、法人内のグループホームとも、バザー等の催し時には行き来されている。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			ストレスや悩みについて、気軽に言い出せるように声かけなど取り組んでいるが、まだまだ不十分なところもあると思います。もっといろんなことを話し合い、相談し合い、解決していけるように努めていきたいと思っています。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			スタッフ個々を考え、資格取得に向けた支援・評価の体制を整えています。今後も全体が向上していけるように取り組んでいきたいです。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			相談時にはゆっくりと求められている事に回答し、一緒に考えていけるようにしています。利用に至るまでも、何度か面会をする中で、何を求めているのかを聞き出したり、感じ取ったり出来るようにしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			相談時にはゆっくりと求められている事に回答し、一緒に考えていけるようにしています。利用に至るまでも、何度か面会をする中で、何を求めているのかを聞き出したり、感じ取ったり出来るようにしています。		
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
			相談にすぐに対応できない場合もあり、その時には他機関と連携する事により、問題解決できるように支援しています。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)		
			入居前には、何度か面会を行い、スムーズな受け入れが出来るように考慮しています。入居の際にも、ご家族との相談の中で、ホームの雰囲気に馴染めるように支援しています。	※	出来る限りの中で、入居前に、ホームで過ごす時間が持てるように支援できる事を検討しています。
			(外部評価)		
			新しい方が入居される際、職員で、事前のご本人の情報を共有し、体調や精神面等にも配慮してかわるようになっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)		
			利用者の方々の事を家族に近い存在として、日々一緒に喜怒哀楽を感じています。利用者の方々からは、日常的事、人となりとしての事等いろんなことを教えていただきます。	※	個別的にもっと利用者の方々と支えあえるようにしていきたいと思います。
			(外部評価)		
			職員は、利用者からお若い頃の生活のお話を聞かせていただいたり、食事や戦争のこと等について教えていただくことが多い。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 共に利用者の方を支えている思いを持ち、相談し合えるような関係作りに努めています。		
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者の思い、家族の思いそれぞれに耳を傾け、公平な立場で、いい家族関係が保たれるように努めています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) お友達やお仲間が気軽に訪問できるように支援しています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係性を十分に理解し、職員が間に入る事で、いい関係性が継続出来る様に努めています。	※	みんなで協働する時間、個別な時間を有効に持ち、利用者同士の関係がいいものになるようにしていきたいです。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後もお付き合いを大切にしています。体調の変化により医療機関へ移行される方とは、その後も声を掛け合える関係が保たれるように努めています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			個々の思いが表出できるように心がけて、個別的な関わりを持つようにしているが、まだまだ不十分に感じます。もっと思いや意向の把握が出来るようにしていきたいです。	※	個別に関わる時間をもっと持っていきたいです。
			(外部評価)		
			利用者の言葉等を日々のケア記録に書きとめ、前後の行動等、背景を踏まえてご本人の思いの把握に努めておられる。	※	さらに、職員は、希望を出されにくい方に対しての対応や思いの把握のむづかしさを感じておられた。利用者一人ひとりが「その人らしい暮らしを続けるため」にも、思いの汲み取りに努めていかれてほしい。
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			ご家族やこれまで関わっていただいていた機関と連携し、情報交換に努め、これまでの暮らし、生活内容を大事にしていけるようにしています。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			利用者本人、家族、関係者の意見を聞き、相談し、よりよいケアが果たせるように介護計画を作成するようにしています。カンファレンスの中でもいろいろな情報を交換し合い、いろんなケアの実践を検討するようにしています。	※	計画と実践の中でもっと具体的な取り組みがなせるようにこれからも取り組んでいきたいです。
			(外部評価)		
			ご家族からご本人の以前の生活の様子を教えていただき、それらを介護計画に反映されることもある。又、主治医の意見等も採り入れておられる。		利用者個々が事業所で、その人らしく生活するためのケアのあり方や課題について、今後ともみなでアイデアを出し合い、支援につなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			体調の変化に伴い、本人、家族、関係者と相談し、本 人、家族の意見を反映出来る計画の見直しを行って います。		
			(外部評価)		
			入居間もない頃は、こまめに見直しを行っておられ る。又、定期的見直しと状態変化時には、随時見直し を行っておられる。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			日々の記録は、センター方式のシートを活用し、情報 が見やすいようにしている。情報の共有や見直しは出 来ていると思うが、実践に関して、日々の業務に追わ れ、取組み不足を感じる事があります。	※	ケアの実践がもっと有効的に行えるように取り組んで いきたいです。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			母体病院への週2回のリハビリ通院を支援しています。 また、体調の変化や家族の希望に応じて臨機応変な対 応が出来るように支援しています。		
			(外部評価)		
			利用者がご家族の冠婚葬祭に出席される場合には、職 員も付き添われたり、送迎をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 必要に応じて民生委員さんやボランティアの方と協力するようにしています。	※	もっと地域資源の利用が出来るようにしていきたいです。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービス事業者の方々と相談し、必要に応じた対応が出来るように支援しています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議や交流会などを通じて、協働できるように努めています。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居の際に本人家族の希望をお聞きし、関係の継続を図ったり、体調の変化に伴い適切な医療が受けられるように他機関とも連携がとれるようにしています。		
			(外部評価) ご本人ご家族の希望する医療機関で診てもらえるよう支援されている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 心療内科の医師と連携を取りながら、必要に応じてスタッフの相談に対応していただいています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週1回、母体病院から看護師の訪問があり、職員が気軽に相談できる関係作りと、利用者も馴染みある関係作りが出来るように支援しています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 関係者、家族と相談、情報交換を行い、体調不良時にすぐに対応出来るように体制を整えています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合の指針を作成し、本人、家族の思いの実現へ向けた支援の体制を整えています。職員間でも、よく話し合い、終末期へ向けた取り組みについて、全体で取り組めるようにしています。		サービス開始時にも重度化した場合の説明や希望を話しあい、状態変化時に対しての方向付けをしていきたいです。
			(外部評価) 事業所では、ご本人やご家族の希望に沿って、事業所で最期を送ることを支援されている。		現在お元気に過ごされている利用者については、重度化した時の対応や終末期のあり方について、話し合っておられない。今後のことは、ご家族も心配なこともあり、話し合うような機会を作ってはどうか。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 出来る事出来ないことは家族ともよく話し合い、出来る中での取り組みについて関係者の協力を得て、職員間でも情報を共有して検討を行っています。		介護職員として出来ないことの見極めを十分に理解、把握しスタッフの不安軽減と他機関との連携を深めていきたいです。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 今までの生活が、スムーズに継続出来る様に情報交換を行うようにしています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとりのプライバシーを大事に声かけ、日々のケアが行えるように努めています。		
			(外部評価)		
			管理者は、「その時々の利用者の状態に応じて、言葉かけや対応も臨機応変に行う」よう職員に指導されている。調査訪問時、職員は、利用者個々の性格等も踏まえてかかわっておられた。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			何でも、利用者の意見を聞くようにしているが、全て思い通りの生活が来ているかといえば、我慢していただいている事もあります。出来る限り希望通り納得のいく暮らしが出来るように支援しています。	※	出来る限り利用者の希望が聞き入れられるようにこれからも努めていきたいです。
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの生活リズムや体調、希望に配慮して対応しています。業務の流れの中で職員の人数やその日の行事ごとなどで希望通りにいかない事もあるが出来る限りその人らしい生活が出来るように支援している。	※	もっと一人ひとりのペースを大事にこれからも努めていきたいです。
			(外部評価)		
			職員は、タイミングをみて、利用者が自然な流れで行動できるよう、支援することに努めておられる。利用者は、出かける際にはおしゃれをされる方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 入居前から通っていた美容室へ継続していけるように支援したり、外出時には楽しみながらおしゃれが出来るように努めています。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 準備、片付けは出来る事をしてもらえるようにしています。食事は、職員も一緒に楽しい雰囲気を大切にしています。月に数回、職員利用者と相談して外食へ行って楽しんでいます。	※	もっと準備の段階で一緒にかかわりを持ちながら楽しめるように支援していきたいです。
			(外部評価) 食事内容は、それぞれのユニットでメニューも違い、品数を豊富にされ、楽しまれたり、又、皆で食事作りに参加して食べることを楽しみにされるユニットもある。利用者の中には、「食事作りは職員に任せる」と言われる方もあるが、下ごしらえや食器洗い、食器拭きを役割として行っておられる方の様子もうかがえた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりのご希望に沿えるように、家族、主治医と相談しながら、状況、状態に合わせて楽しめるようにしています。		
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大事にトイレで排泄できるように支援しています。排泄のリズムをスタッフ間で情報交換できるように申し送りをしています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			出来る限り本人の希望で入浴をしてもらっています。介助を要する方は、スタッフが声かけを行ってからの入浴になるので職員の都合で入浴しているように感じますが、入浴中は湯船を楽しまれています。		
			(外部評価)		
			体を洗う順番が決まっている方もあり、職員は、利用者個々のこれまでの習慣を踏まえて支援されている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			生活のリズムと一人ひとりの生活習慣や状況のバランスが保てるように、出来る限り本人のペースで過ごしていただけるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			役割分担は利用者同士の中で出来ており、職員はその関係性が保たれるように支援している。出来る事が少ない方に対してもっと小さな出来る事への発見を多くしていきたい。	※	些細な事でもできることへの発見をしていき支援につなげていきたい。
			(外部評価)		
			おしゃべりを楽しまれる方が多くおられる。又、本を読まれたり、俳句を作られる方、お手紙を書いて出す方もいる。畑の水やりや収穫も楽しみにされている。	※	さらに、利用者一人ひとりが喜びのある日々を過ごせるよう、この機会に利用者一人ひとりについて話し合われてみてはどうだろうか。又、ご家族とも相談される等、支援を拡げていかれてほしい。
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物へ行ったり、美容変へ行った時にお金を所持し支払を行う方もいらっしゃいます。一人ひとりに応じた対応が出来るようにしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			外出はどんどん出来るように、希望があれば希望のあった場所への外出、月に数回は外食を計画し、みんなで楽しめるようにしています。	※	もっと個別にも出かけられるように支援していきたい。
			(外部評価)		
			季節の花見や外食等に出かけておられる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			お墓参りや結婚式など、出かけられるように協力支援をしています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			携帯電話を持っている方もおり、その方の要望に応じて支援しています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気軽に立ち寄って頂けるように心がけ、訪問の際も暖かい雰囲気を大事に伝えるように心がけています。訪問してくださったお友達と他の利用者の方もみんな一緒になってお茶を楽しむ事もありました。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束について勉強会などを行い十分に理解しています。不必要な身体拘束は絶対にあってはならないと考え、ケアに取り組んでいます。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけないケアの実践を行う中で、利用者の居場所の把握、安全確保のために玄関にチャイムを置き、外へ出られた際も自然に同行できるように取り組んでいる。 (外部評価) 玄関には鍵をかけておられない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中は職員間で自分達の所在も確認しながら、利用者の方の見守りが出来るように心がけている。夜間は、夜勤者一人になるが、安全に配慮し、定期的に訪室し状態の把握に努めている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて対応しています。ハサミの保管が難しい方は、リビングで一緒に使うようにし保管場所を決めている。また、自由に使っているかたもいらっしゃいます。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止のために一人ひとり考えられるリスクについてカンファレンスなどで話し合い、対応策を考えている。ご家族にもリスク管理と一緒に考えてもらえるように協力をお願いしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時や事故発生時のマニュアルを作成し、活用しています。応急手当など母体の病院で年1回、勉強会を行っています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回、消防の方の指導のもと訓練を行っており、とても身になっています。実際の避難の仕方などもご指導いただき、シュミレーションを行っています。 (外部評価) 避難場所も確認されており、避難訓練を消防署の協力のもと行い、アドバイスをいただいた。	※	地域の方々に協力を得られるような働きを運営推進会議などを通じてもっとしていきたいです。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりに考えられるリスクについて、職員間、家族ともよく相談して対応策を考えています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) いつもと違う些細な事へのきづきができるように日頃から注意できるように心がけています。発見後の対応は迅速に行い、状況に合わせて医療機関への受診なども行っています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 内服薬の把握に努めるとともに、状態変化があった場合の医療機関との連絡体制を整え、服用できるように努めています。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 日常的に牛乳を飲んだり、繊維質を摂ったりして、便秘予防に努めています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに応じた口腔ケアを行っています。必要な方には、月に1回、歯科の往診にて口腔指導を行っています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に合わせて食事の形態を工夫し、食べやすいようにしています。摂取量は記録し把握できるようにしており、ばらつきや摂取量が少ない場合は対応をその都度相談し、水分をそのまま摂りにくい方には寒天を作ったり、果物などでの代替など工夫しています。		
			(外部評価) 利用者の体調や飲み込みの状態に合わせて、とろみをつけたり、ミキサーや刻む等、食べやすいよう調理されている。又、職員は利用者にお茶のおかわりをすすめておられた。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対しての勉強会を定期的に行い正しい知識を身につけるようにしています。予防の為に手指消毒、手すりや台所用品の消毒を徹底しています。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、布巾は毎日漂白を行い、衛生管理に努めています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節によって花を飾り、あたたかい雰囲気が出るように心がけている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングは季節ごとに飾り付けをかえたり、花を飾ったりしています。畳コーナーも設けており、冬にはコタツを出しくつろげる空間にしています。 (外部評価) 木の温かさが感じられる造りになっており、掃除は、職員がされている。居間は、日当たりがよく、日向ぼっこをされている方もうかがえた。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) それぞれの居場所が出来ており、自由に過ごせるようにしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人家族と相談しながらお部屋作りをしています。居室が狭い事あってあまり多くは持ち込まれていません。	※	壁などを利用してその人らしいお部屋作りが出来るように支援していきたいです。
			(外部評価)		
		ご家族の方が壁に写真を飾っておられるお部屋がうかがえた。畳の間や板の間の居室がある。利用者の中には居室の掃除を職員とともにされる方もいる。			
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
		換気、空調は季節に合わせて適温適湿に保たれるように配慮しています。			
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			いろいろな身体状態の方々がそれぞれに生かせるように、スロープの配置、階段の設置、手すりの設置などを行っています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の方の目線に合わせて環境を整えるようにしています。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑に季節の野菜や花を栽培し、水遣りや手入れ、収穫や観覧、みんなが楽しめるようにしています。ベランダ、玄関にはベンチを置きくつろげる空間になっており、日差しの暖かい日は憩いの場になっています。		

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の思いや願いを聞き入れるように、日々意向を聞いたり希望を聞いたりしています。その実現がいつも出来ているかは難しい場合がありますが、実現に向かって努力しようと思って取り組んでいます。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	日によって通院や体調不良者が出た場合など慌しく流れてしまう日もありますが、基本的にはゆったりとした生活になっています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのペースが保てるように支援しており、強要はしていません。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑いの耐えない暮らしを送っています。もっと工夫、努力をする事でいきいきした表情が引き出せると思います。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたいと表出できる方は、それが出来るように支援しています。そうでない方に対しての働きかけをもっとしていく必要があると感じます。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療機関と密に連携をとっており、些細な事でも相談し、早期発見早期解決に努めています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全て利用者の要望どおりに行くとは限らず、応えきれない時は良く話し合い納得していただくようにしています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	出来るだけ要望を聞けるようにしているが、その全てが現れているかどうかは分かりません。信頼関係を築けるようによく相談を行ったりしています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ④ほとんどない	地域の方は行事ごとなどで足を運んでくださる事があります。何もなくてというのは難しいです。

(自己評価)	
事業所の理念にあるように「あわてず、あせらず、あきらめず」「目の届く、手の届く、心の届く生活を支えます」それが実践できるように、利用者、職員みんなが家族のような存在で、泣いたり笑ったり、怒ったり喜んだり、些細な事を共感しあえるように全体で取り組み、その気持ちは一つです。もっともっと明るく楽しいあたたかい家庭の雰囲気が出せるように向上心を持って取り組んでいきます。また、母体が医療機関であることで、健康面で不安な事があればすぐに相談が出来、グループホームでの看取りを含めて、家族の希望を反映させる事ができるように、いろいろな過ごし方に対応出来るように、他機関との協力を得られるようにしています。	